

連合北海道 就活応援セミナー開催報告

連合北海道は、2月26日、札幌市内において就活応援セミナーを開催した。これから就職活動を控えている大学生や既卒者、学校の就職指導部の職員ら15名が参加した。

開催に先立ち、連合北海道の出村会長は、「2011年にスタートした就活セミナーは今回で9回目となる。連合は組織率



が17%程度と、多くの職場には労働組合が存在していないが、春闘をはじめ労働条件の改善や労働相談等の取り組みを行っている。2010年以降、ブラック企業という言葉が出始めてきたが、セミナーを通じて、違法な働き方をしているブラック企業から、自らがワークルールの知識を身につけ身を守るすべを得てほしい。」と挨拶した。



講演では、(株)インタメプロダクション(東京)の渋谷文武代表取締役が「第1志望から確実に内定をとる方法」と題して、エントリーシートの書き方や面接の受け方を伝授。「自己PRや面接のコツをつかめば、倍率の高い企業にも受かることができる。」「自分らしく生きれば才能が発揮できて、働くことも人生も楽しい。」とエールを送った。



続いて、連合北海道の齋藤副事務局長は、社員を使い捨てるように働かせる「ブラック企業」や、求人票・募集広告の見方などについても説明した。途中、某企業の人事担当者と生電話をして人事担当者からみた面接のポイントなどについてもアドバイスした。



セミナー終盤には、行政や大手民間企業、約20労組の組合員もアドバイザーとして参加し、「希望どおりの勤務地に配属されるのか」「給料はいくらか」などといった学生らの本音の質問に答えていた。

セミナー終盤には、行政や大手民間企業、約20労組の組合員もアドバイザーとして参加し、「希望どおりの勤務地に配属されるのか」「給料はいくらか」などといった学生らの本音の質問に答えていた。